

2026WORLD ROWING UNDER19 CHAMPIONSHIPS REPORT 3 (8/1,2)

8月1日(土)

この週末の2日間で、ローイングコースにてトライアスロン大会があるということで、コースの使用時間の制限と、トラフィックルールの変更がありました。トラフィックルールはトライアスロンのスイムを妨げないようなものになっており少し複雑なものでしたが、選手たちは臨機応変に対応し、着々と準備を進めておりました。



写真左から、梶 ひまり 選手(立教大学)、佐野 天里 選手(岡谷南高校)、首田 笙 選手(富山国際大学)、一瀬 弥満登 選手(若狭高校)



ローイングコース内の一部と周辺ではトライアスロン大会が開かれておりました。



変更されたトラフィックルールを確認し、元気よく
出艇していきます。

JM1x 佐野選手(岡谷南高校)



JW1x 梶選手(立教大学)



M2x クルー(写真左から)S 首田選手(富山国際大学)、B 一瀬選手(若狭高校)

水上でもトライアスロン大会との共存のため、係員の指示を確認する梶選手(立教大学)。



8月2日(日)

前日に引き続き、ローイングコースにてトライアスロン大会がありましたが、各クルー準備を進めることができました。現地での生活にも順応しはじめており、水上での艇の動きも良くなってきております。



写真左から、梶 ひまり 選手(立教大学)、一瀬 弥満登 選手(若狭高校)、佐野 天里 選手(岡谷南高校)、首田 笙 選手(富山国際大学)



前日に引き続きトライアスロンの大会が行われておりました。出艇・帰艇桟橋への動線を横切るように、自転車レースが通り過ぎていくので、桟橋に向かうところから十分な注意が必要でしたが、適切に対応しておりました。



力強いドライブを見せるJM2x クルー
(写真左から)B 一瀬選手(若狭高校)、S 首田選手(富山国際大学)

軽快に艇を進めるJW1x 梶選手
(立教大学)





スタート練習をするJM1x 佐野選手(岡谷南高校)



現地入りをした国の数も徐々に増え、明日はいよいよコースオープンとなります。大会に向け一日一日を大切に、しっかり準備していきます。